

熊本市現代美術館 ギャラリーIII

入場無料 開館時間 10:00—20:00 火曜休館
主催 熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団）



小材啓治 私の風土記展

2023

1/18 (水)

|

3/5 (日)

古代賛歌 2008年 100号 作家蔵

小材啓治
私の風土記展Keiji Kozai
Ode to the Wind and Soil

山鹿出身・在住の洋画家小材啓治は、鍋田横穴古墳や阿蘇などを主題とし、赤みが混じる独特の色彩と、ざらりとした土や岩の感触を想像させる独特のマチエール（絵肌）で描き続けています。

好きな画家として坂本繁二郎と鳥海青児を挙げるなど、リアルさを極めることには全く興味がなく、キャンバスのしなりを感じながら、いつ筆を止めるかは先に決めずに、画面に色を載せ続ける行為そのものが、なにより楽しいと小材は語ります。

世間には、流行の描き方、流行の画題は確かに存在します。しかし、小材は反骨精神のもと自ら選んだやり方に長く向き合ってきました。

阿蘇の火口壁の土の色。古墳や石像にかすかに残るベンガラの赤。風と土が生み出す色彩やかたちから得た感動を、遠い昔この土地で生きた人々の営みへの想いを、どのような構図で、どのような色でキャンバスに表現するかが、小材の選んだ挑戦です。

本展では、日展特選受賞作や、数々の示現会受賞作などを中心に、2002年からの20年の画業を紹介します。
（熊本市現代美術館学芸員 富澤治子）



小材啓子 冬の牧舎 2021年
（特別出品）

熊本市現代美術館

Contemporary Art Museum, Kumamoto

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3F
Tel.096-278-7500 www.camk.jp

※美術館専用の駐車場はございません。「びぶれす熊日会館」駐車場（有料）や周辺のコインパーキングをご利用ください。
※美術館は交通アクセスの良い熊本市街地中心部にありますので、できるだけ公共機関をご利用ください。



鍋田横穴古墳 2002年 I20号 作家蔵



阿蘇 2022年 I30号 作家蔵

関連イベント
アーティストトーク

2023年1月22日(日) 14:00-15:00 入場無料

会場：GIII展示室内 定員25名

参加方法：当日会場にお集まりください。
（コロナ禍の状況により、中止・延期や会場変更の可能性があります、ご了承ください）

小材啓治 こざい・けいじ 略歴

- 1948年 熊本県鹿本郡（現・山鹿市）鹿本町生まれ
- 1970年 鹿児島大学教育学部卒業。熊本県上益城郡清和村（現、山都町）に中学校の美術教師として就任
- 1976年 熊本県美術協会展努力賞（'81奨励賞、'84会友賞、会員推挙）
- 1991年 《蔵の街》で示現会会員推挙
- 1993年 《頬当御門》で日展初入選（以後20回入選）
- 1999年 示現会熊本支部長となる、教職を辞す
- 2000年 初個展（熊本県立美術館分館、熊本）
- 2001年 個展（銀座熊本館、東京）
- 2002年 《鍋田横穴古墳》で第55回示現会展安田火災美術財団奨励賞受賞
- 2003年 第22回安田火災美術財団選抜展出品（東郷青児美術館、東京）
個展（銀座サムホール、東京）
個展（アートスペース大宝堂、熊本 '07、'10、'14）
- 2004年 グループ「権」展（アートギャラリー、東京 '05、'06、'07）
- 2005年 《遺されしかたち》で第58回示現会展大内田賞受賞。
- 2006年 「ARS KUMAMOTO 熊本力の現在」展出品（熊本市現代美術館、熊本）
- 2007年 「在熊作家郷土の風景画展」出品（つなぎ美術館、熊本）
- 2008年 《古代讃歌》で第61回示現会展示現会賞受賞
グループ「倉桑の会」展出品（福岡市美術館、福岡）
グループ「SOU」展出品（みぞえ画廊、福岡 '08～'14）
- 2015年 「公募団体ベストセレクション展2015」出品（東京都美術館、東京）
個展（熊本県立劇場中央モール、熊本）
- 2016年 《馬と兵士のいる古墳》で改組新第3回日展特選受賞
- 2021年 《阿蘇》で第74回示現会展文部科学大臣賞受賞

日展会友、示現会会員、熊本県美術協会会員、熊本県美術家連盟会員。
山鹿市在住。